

自治会活動デジタル化支援補助金 説明会

令和8年5月19日（火）

各務原市まちづくり推進課

次第

- ① 自治会活動のデジタル化について……………3
 - ② アプリの機能について……………7
 - ③ 市内の利用状況について・活用事例紹介…11
 - ④ 災害時の活用について……………22
 - ⑤ 自治会活動デジタル化補助金について……27
 - ⑥ アプリ導入の流れについて……………32
 - ⑦ デモ環境の体験について……………38
- （参考）モデル自治会のアプリ活用事例集

自治会活動のデジタル化について

自治会とは

- 一定の区域に住所を有する者の**地縁**に基づいて形成された団体
- 区域の住民相互の連絡、環境の整備等、**良好な地域社会の維持及び形成**に資する地域的な共同生活を行っている。

交流、見守り、助けあい 環境美化活動

防犯活動 **自治会** 文化活動

情報共有や市への要望

3

自治会の現状

- 共働き世帯の増加、若い世代の関心の薄れ
➔ **活動者の減少**
(美化活動、防災活動、祭り等への参加者減)
- 現役世代の就労延長化、地域住民の高齢化
➔ **役員の担い手不足**
- 運営の見直しができていない。仕事との両立が難しい。
➔ **役員の負担**
(行事や会議が多い、広報紙配布、充て職など)

4

自治会の現状

こうした現状で、市に求められることは…

- 役員の**負担を軽減**
- 働きながら活動できる**環境の整備**

ICTの導入



- ・運営の**負担軽減**
- ・住民の**利便性向上**
- ・活動への**参加促進** など

5

「結ネット」実証実験 導入のきっかけ

- 自治会**まちづくりミーティング**

R4 中央町自治会 「連絡・回答などのデジタル化について」

R5 山の前自治会 「自治会活動へのDXの導入」

- 市長への**提案箱 あさけんポスト**

R3 「回覧板の電子化について」

- **市議会**一般質問

R5 第3回定例会（6月）五十川市議 「持続可能な地域コミュニティに向けて」



6

結ネットとは

いつもは地区・町内の連絡アプリ「結ネット」 もしもの時は安否状況を集約

The screenshot shows the '結ネット' app interface on a smartphone. The app is titled 'CPU町内会' and '一般 石川太郎'. The main screen displays a grid of icons for various functions: '町内行事' (Town Events), '連絡' (Contact), '防災情報' (Disaster Information), '親睦会のご案内' (Recreation Meeting Guide), 'ゴミの日' (Garbage Day), '子ども会' (Children's Meeting), '学校' (School), '広報物' (Publicity Materials), '役員会' (Board Meeting), '総会' (General Meeting), '書庫' (Library), 'ご意見箱' (Opinion Box), and 'お問合せ' (Inquiry). Callouts highlight key features: 'あなたの地区・町内情報をお届けします' (We deliver information about your area and town), 'いち早く情報取得' (Get information as early as possible) for '側溝改修工事のお知らせ' (Sewer renovation work notice), '速やかな緊急連絡' (Quick emergency contact) for '河川水位上昇避難準備を!' (River water level rise evacuation preparation!), and '安否状況を共有' (Share safety status) with '災害モードを発動' (Activate disaster mode) and buttons for '至急支援希望' (Urgent support request), '連絡希望' (Contact request), and '無事' (Safe).



アプリのメニュー設定の一例



各自治会ごとにメニューアイコンや名前、閲覧可能な方を設定可能です。

一般的な汎用記事以外にも

- ・問合せ
(アプリ内から会員⇒役員へ問合せが可能)
- ・アンケート型
- ・掲示板型
- ・チャット型

のメニューなどを自治会の活動に合わせて選択することができます。

9

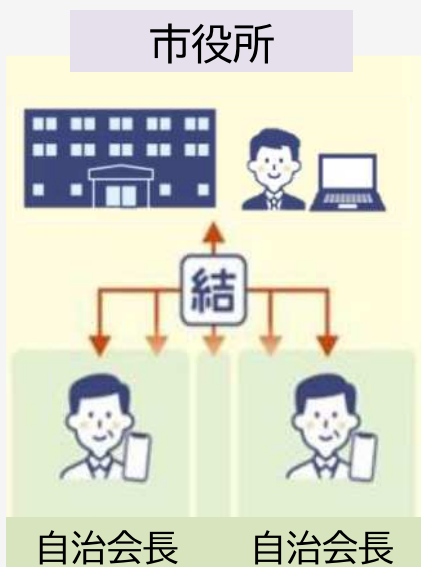
その他、結ネットの特徴

- ・単位自治会だけでなく、連合自治会や区などの単位でもご利用いただけます。
- ・1世帯で1名だけでなく、家庭内のご家族もアプリにご登録いただけます。

10

「結ネット」の利用状況

《事業①》市⇔自治会長



《事業①》 市⇔自治会長

- ・ 会議等の案内、出欠確認
- ・ 補助金申請
- ・ 要望書提出
- ・ 自治会長の手引きの掲載
- ・ 防災情報等の配信

R6 (R7.3.31)
登録率
218/390人
55.9%

R7 (R8.3.29時点)
登録率
247/391人
63.2%

R8 (R8.4.24時点)
登録率
281/393人
71.5%

11

「結ネット」の利用状況

《事業②》自治会内

自治会長・役員



《事業②》 自治会内

- ・ 行事等案内、出欠確認
- ・ 電子回覧板
- ・ 緊急連絡
- ・ 災害時の安否確認など

利用実績 (R8.4.24現在)

- 利用団体数
自治会連合会 3 団体
単位自治会 4 団体
- 市内登録世帯数
1,046/1,916世帯
- 全体登録率
54.59%

12

結ネット 登録者数 <<事業②>>自治会内

R8.4.24現在

連合会	自治会(連合会)名	単位自治会数	加入世帯数	結ネット登録世帯数	登録率	総ID数
那加第1	山後町	1	251	158	62.95%	183
尾崎	尾崎南町3丁目	1	83	44	53.01%	51
川島	松倉町自治会連合会	8	797	419	52.57%	484
	松原県道	1	44	24	54.55%	29
	渡町	3	285	55	19.30%	61
	緑町自治会連合会	4	301	296	98.34%	330
各務	山の前	1	155	50	32.26%	56
合計		19	1,916	1,046	54.59%	1,194

13

「結ネット」活用事例の紹介 広報紙特集記事

地域の絆を支える
アプリを活用した
自治会活動

電子刊版アプリの機能

市公式ウェブサイト
広報紙バックナンバー

※3/1号をご確認ください。

R8.3.1号

14

緑町自治会連合会の活用事例①

▼ごみ収集ステーションの場所変更



▼自動車事故の注意喚起



緑町自治会連合会の
アプリ配信画面

15

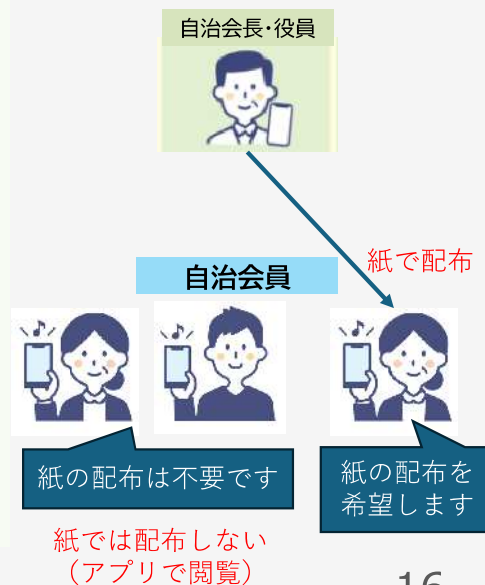
緑町自治会連合会の活用事例②

自治会役員からは、「広報紙を1軒1軒ポストに入れるのは大変だったが、楽になった」といった声が寄せられました。

▼成果
自治会の役員からは、「広報紙を1軒1軒ポストに入れるのは大変だったが、楽になった」といった声が寄せられました。

自治会役員からの提案を受け、令和7年12月1日号から、紙の広報紙の配布を希望制にする実証実験を行っています。現在299世帯の会員のうち、264世帯(約88%)がアプリで広報紙を閲覧し、紙で受け取っていません。また一方で、見守りが必要なひとり暮らしの高齢者などの世帯には、引き続き紙で直接広報紙を届けることを見守り活動の一環として継続しています。

取組② 配布する広報紙の削減



16

利用者アンケート

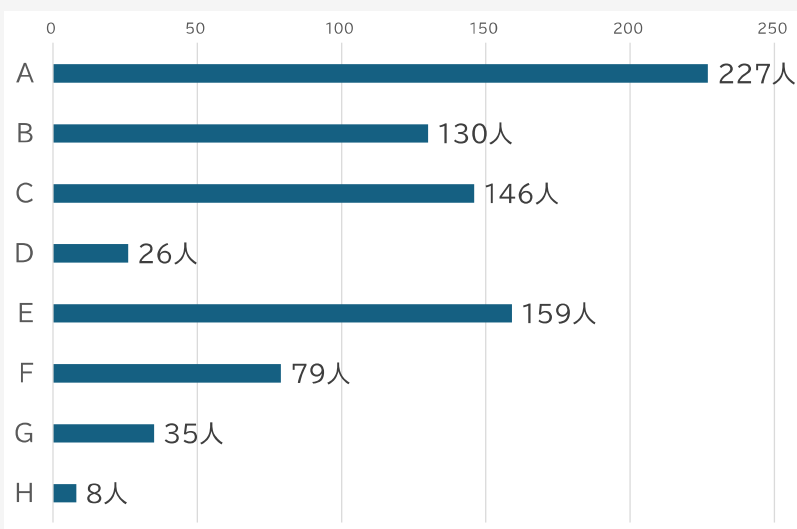
- 実施期間 R8.3.2～R8.3.16
- 対象者 令和7年度モデル自治会 利用者
- 登録世帯 1,089世帯 (32.3%)
- 回答数 329人
- 回収率 30.2%

17

利用者アンケート 良いと思った点

回答者数 329名

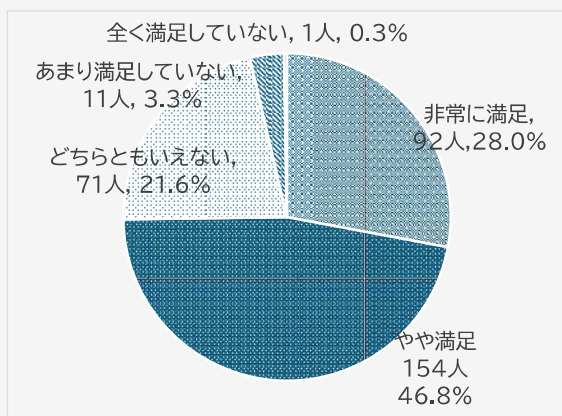
- A 自治会に関する情報をすぐに確認できること
- B 会議や行事の出欠報告や、アンケートの回答ができること
- C 過去に発信された情報を再確認できること
- D 役員等へ電話などで直接個別に連絡することが減ったこと
- E 市の広報紙や自治会回覧物が確認できること
- F 市の防災・防犯情報が確認できること
- G 特になし
- H その他



18

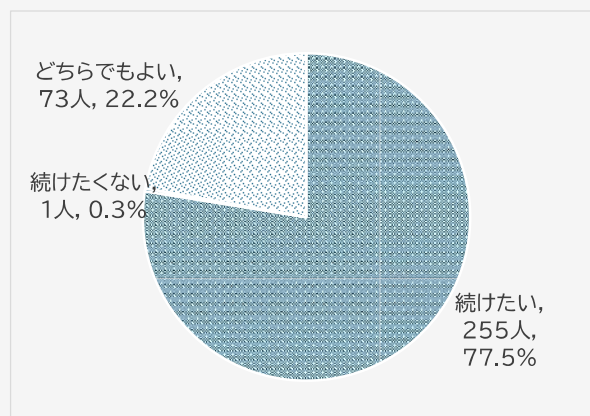
利用者アンケート 満足度

●満足度



満足 74.8%

●継続利用希望



続けたい 77.5%

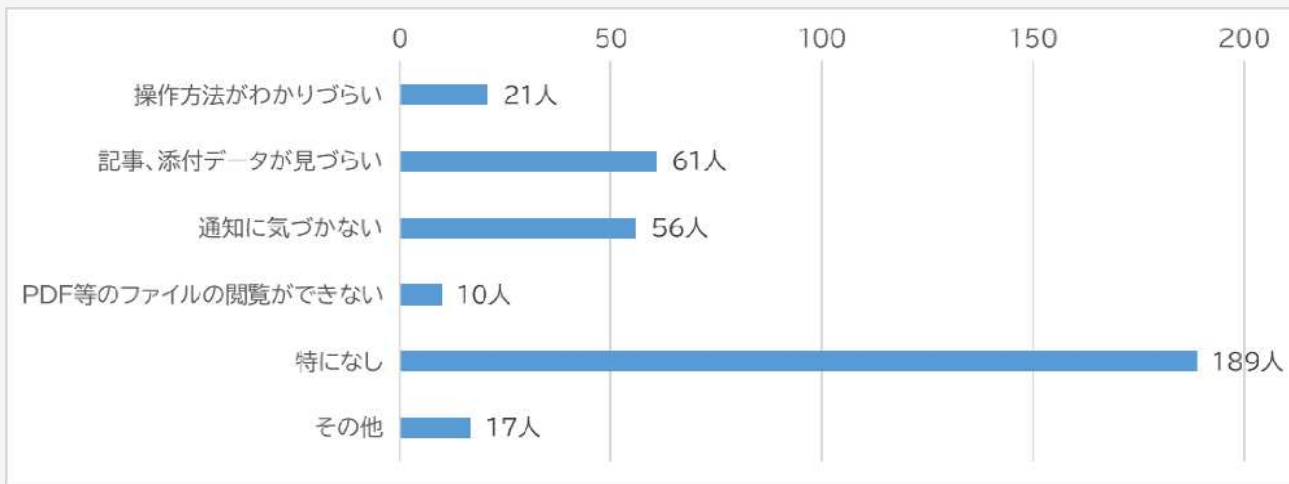
19

「結ネット」こんなところが良かった！（アンケートより抜粋）

- 回覧板の回りが遅く、行事案内等の情報入手に困っていたが、結ネットで情報が早く入手出来るので助かっています。
- 回覧板を回した後でも、確認したい情報を見ることが出来るので便利でした。
- 総会の委任状を結ネットで取得できるようにしたことにより、総会の成立要件の確定が楽にできるようになりました。
- 子ども会の行事で、当日の天候で開催されるか微妙な時に直前連絡頂けるので、判断に困ることが無くなりました。

利用者アンケート 満足てきないと思った点

回答者数 329名



21

災害時の活用について

災害時 いつものアプリに最寄りの緊急情報表示
災害モードに切り替え、安否確認を実行



いつも使っているアプリだから安心
最寄りの情報を慌てずに取得
いち早い避難行動へ

自身の状況をいち早く伝達
安否状況をすくさま発信
支援が必要なきも安心

情報の一斉通知と状況の共有
伝達遅延を防ぎ
支援体制につなげる



災害時は住民全員が安否状況を共有
地域全体で支援の輪を広げる

22

（１） 団体情報

- 町会数 : 6町会 ※概ね小学校区単位の連合会
- 世帯数 : 3,198世帯 (R6.3月末時点)
- 活用アプリ : 結ネット (H31.4月~導入)

（２） 令和6年能登半島地震での活用

■ 校下内、6町会で安否確認を実施

- アプリの災害時安否確認機能を用いて、6町会の安否確認を実施し、アプリ導入者(1,536名)のうち59.2%(910名)から回答があった。

応答状況	6町会合計
応答	910
無事	909
連絡希望	1
支援希望	0
既読(未回答)	79
未読	547
合計	1,536

応答状況	6町会合計
応答	910
無事	909
連絡希望	1
支援希望	0
既読(未回答)	79
未読	547
合計	1,536

■ 「連絡希望」で回答された方への対応

<安否確認でのコメント（一部抜粋）>

【2024/1/1 20:42:09】

私は大丈夫ですが、災害対応で出勤しています。
高齢両親と子どもを xxxxx ○○号室に置いてきています。
父 81歳：視覚障害者、
母 75歳：体調不安定、認知機能低下
子ども：小学1年生
何かあれば声掛けをお願いいたします。●●号室の▲▲さんにもお願いさせていただいております。

<町会での対応>

- アプリのコミュニケーション機能を用いて、投稿者へ依頼について承知した旨をお知らせし、声掛けができるよう体制を整えた。

（3） 仮想防災訓練の実施

■ 概要 :

- 避難所に集合する形式の訓練に加えて、アプリを用いた仮想防災訓練を実施している。(R元.8月～)

■ 訓練内容 :

- アプリの安否確認機能を用いて、①管理者による安否確認機能の操作訓練と、②会員による安否情報の発信操作訓練を年2回実施している。
- 訓練実施後は、アプリの回覧板機能を用いて安否発信状況等の結果を共有し、会員にアプリによる安否情報の発信を促している。



自治会活動デジタル化支援補助金

NEW

○ 補助対象

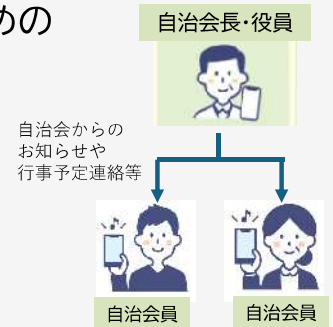
- ・「結ネット」および、その他の「自治会が行う活動を支援するための機能を有し、スマートフォン等で使用可能な有料のアプリ」を新規に導入する場合の初期費用

○ 補助金額等

- ・補助率 10/10 ・上限金額 1自治会等当たり6万6千円

○ 注意事項等

- ・アプリの継続利用には各自治会で月額利用料金の負担が必要となります。
- ・上記補助金の申請については市自治会連合会がアプリの新規導入自治会を取りまとめて手続きします。



27

アプリの利用料について①

アプリの継続利用には別途下記月額利用料のお支払いが必要です。

$$\text{月額利用料金（税込）} = \text{月額基本料金} + (11\text{円} \times \text{利用世帯数})$$

(変動※)

※1 月額利用料金は、毎月月末時点での利用世帯数により変動します。

月額基本料金単価表(税込)⇒	～ 29 世帯	110 円	300 世帯 ～ 599 世帯	2,200 円
	30 世帯 ～ 99 世帯	330 円	600 世帯 ～ 899 世帯	3,300 円
	100 世帯 ～ 199 世帯	660 円	900 世帯 ～ 1,199 世帯	4,400 円
	200 世帯 ～ 299 世帯	1,100 円		

※2 利用世帯数は**1の位を切上げて**計算します。

例) 利用世帯数123世帯の場合 → 料金算出時には130世帯として計算

※3 アプリの月額利用料金は1世帯ごとに発生し、家族の登録については枝番管理され、利用料金はかかりません。

※4 2月～3月分の利用料金については**1月末時点**での利用世帯数で積算します。
(※2月～3月の間の世帯数の変動は料金の算定に反映されません。)

28

アプリの利用料について②

例 自治会加入世帯が123世帯の自治会の場合

月額基本料金は利用世帯数によって変動します。

- ・ 半分の世帯（62世帯）が登録した場合
月額：330円+（11円×70世帯）＝1,100円
年間：1,100円×12ヶ月＝13,200円

利用世帯数は1の位を切上げて計算します。

- ・ 全世帯（123世帯）が登録した場合
月額：660円+（11円×130世帯）＝2,090円
年間：2,090円×12ヶ月＝25,080円

29

アプリ「結ネット」登録方法について

A…事前ID発行型

- ①利用者の氏名や所属情報を事前にアプリ上に登録し、IDを発行。
 - ②チラシなどにID等記載して、各世帯に配布。
 - ③各世帯でアプリのダウンロードとログインを行う。
- ※IDを発行した時点からログインをしなくても利用料が発生します。

B…利用申請承認型

- ①各世帯がアプリをダウンロード後、アプリ内から自治会に対し利用申請を行う。
 - ②自治会員からの申請を確認し、管理者が承認する。
 - ③承認通知が届いたら利用開始。
- ※管理者が承認した時点から利用料が発生します。

30

アプリの利用開始に必要な情報

《必須入力項目》

- 氏名
- ふりがな
- 所属（1班・2班 等）
- 役職（会長・班長・一般会員等）

《任意入力項目》

- 性別・種別
- 生年月日
- 住所
- 電話番号
- Email
- 災害時支援（要・否）


31

アプリ導入の流れ

時期		作業	自治会で実施いただく作業
6月末	①	アプリ導入計画書提出	○
	②	補助金交付申請	
	③	補助金交付決定通知書	
7月9日（木）	④	説明会（アプリ管理者向け）	○（説明会出席）
④以降順次	⑤	申し込みシート提出	○
	⑥	初期設定作業	
	⑦	テスト運用と微調整	○
	⑧	運用規約の策定	○
	⑨	運用開始（自治会員の登録等）	○
		…	
来年1月末頃	⑩	月額利用料金支払い	○

32

① アプリ導入計画書提出

- 期限：6月30日（火）（厳守）
- 提出先：まちづくり推進課
（市自治会連合会事務局）
- 提出物：アプリ導入計画書
※Webフォームからもご提出いただけます。
<https://logoform.jp/f/RXDmP> 
- 「結ネット」導入にあたっては、添付書類は必要ございません。
- 連合会等で導入を希望する場合は導入する団体で1枚、代表者よりご提出ください。

様式第1号（第7条関係）

（宛先）各務原市自治会連合会長

自治会等の名称 〇〇自治会

代表者氏名 氏名

各務原市自治会活動デジタル化支援補助金申請に伴う
自治会電子回覧板アプリ導入計画書

各務原市自治会活動デジタル化支援補助金交付要綱第7条の規定により、補助金を申請することに伴う、当自治会の電子回覧板アプリ導入計画書を提出します。

記

アプリの名称	結ネット
初版設定費用	66,000円
添付書類	(1) 導入する電子回覧板アプリの概要が掲載された資料の写し (2) 導入する電子回覧板アプリの初版設定費用が掲載された資料の写し

33

④ 説明会（管理者向け）

日時：令和8年7月9日（木） 19時～

場所：産業文化センター2階第3会議室

内容：・申し込みシートの提出について
・アプリのメニュー設定について
・アプリの権限設定について

等

34

⑧運用規約の策定

各自治会においてできる限り運用規約を策定いただくことをお願いしております。

運用規約の雛形のデータを提供させていただきます。

規約には、主に下記の内容が含まれます。

- 権限
- 管理者
- 個人情報の利用制限
- 利用上の禁止事項
- 利用者登録の抹消

●●自治会における自治会電子回覧板「結ネット」運用規約

(例)

(主旨)

第1条 この規約は、●●自治会（以下「本自治会」という。）における地域コミュニティ活動の継続と活性化を図るため、地域における情報の共有及び発信をするための自治会電子回覧板アプリ「結ネット」（以下「結ネット」という。）の運用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(情報の共有及び発信)

第2条 本自治会は、「結ネット」を利用し、次に掲げる事項を行うものとする。

- (1) 自治会情報（自治会行事、回覧板、防災防犯情報、総会関連、おくやみ、掲示版、ごみの日）の共有・発信
- (2) 「結ネット」登録利用者の承認・把握・管理、閲覧・回答状況の確認
- (3) 災害時の安否確認（訓練を含む。）
- (4) その他自治会が必要と認めること。

(役割及び権限)

第3条 本自治会は、「結ネット」の運用に当たっては、次に掲げる役職の区分に応じ、それぞれ次の権限を有する。

- (1) 管理者（全ての自治会情報の発信、閲覧状況・回答状況の確認と登録利用者の承認・把握・管理）

35

⑩月額利用料金の支払い

- アプリの利用料金は、**毎月月末時点での利用世帯数（ID発行数）**に応じ積算します。
※1の位は切上げ
- 2月～3月分の利用料金については**1月末時点**での利用世帯数で積算します。
(※2月～3月の間の世帯数の変動は料金の算定に反映されません。)
- 毎年度1月末に、各利用団体の1年間の利用料金を確定し、市自治会連合会から代表者に対し、請求書を郵送します。
- 各自治会は、市自治会連合会から指定された口座に利用料金をお支払いください。
※振込手数料は各自治会でご負担をお願いします。

※アプリの利用料金の積算方法についてはスライドの28枚目をご確認ください。 36

アプリ登録チラシ

市で雛形のデータ提供など、登録を呼びかけるチラシの作成をお手伝いさせていただきます。

浜町自治会 自治会員の皆様へ

電子閲覧アプリ「結ネット」の試験導入を実施しています！

濱町自治会もモデル自治会として試験導入に参画中です。ぜひ自治会員の皆様のご登録をお願いします！アプリ登録方法等に関しては別紙をご確認ください。
※初年度10月19日(日)15:00より、濱町公民館にて登録会を実施いたしますので、登録作業にお預りの方はぜひお越しください。
※既にアプリ登録済みの方は改めての登録は不要です。

「結ネット」でできること

自治会に関する情報が手持ちのスマートフォンでご確認いただけるほか、様々な機能があります！

- 自治会行事等のお知らせの受け取り
- 会議や行事の出席の回答
- こみの収束日や当番などの予定確認
- 自治会へのお問い合わせ
- 災害時の安否確認 など

「結ネット」を利用するメリットは？

- ① 労力の削減
- ② 意見などの集約が簡単
- ③ 迅速な情報伝達
- ④ 過去の情報が確認できる など

自治会からの特別を自治会員一人一人に取得することができ、会議、行事などの出席確認や意見取りまとめなども一括で実施できます。また、委員は過去の履歴もいつでも見直すことができます。また、新たに知らない自治会の内容を再確認することもできます。
 他にも、活動の内容や写真を投稿できるため、多くの方へ情報を共有し、地域の活動への理解を深めるために大変有効な機能があります。

「結ネット」では、常からのお知らせも配信いたします！

広報かみかほら、自治会配布文書、防災・防犯情報など

【発行】各務原市役所 まちづくり推進課 TEL 056-351-662

電子閲覧アプリ「結ネット」登録方法について

インストール

● iPhone・iPad をお使いの方

① QRコードを撮影し、下の二つのスクリーンショットを撮影する

② ①のスクリーンショットを撮影した状態で、App Store (iPhone) または Google Play (iPad) と検索

③ 「結ネット」をインストール

● Android をお使いの方

① QRコードを撮影し、下の二つのスクリーンショットを撮影する

② ①のスクリーンショットを撮影した状態で、Google Play と検索

③ 「結ネット」をインストール

④ インストール完了後アプリを開く

「結ネット」の利用規約が表示されるので、内容を確認し「同意する」を選択

⑤ 新規利用申請を選択

⑥ 必要事項を入力し、「申請」を選択

⑦ 利用申請完了のお知らせが届いたら...

但し利用申請完了のお知らせを受信しない場合は、またはアプリ画面を開き、「新規利用」を選択

⑧ 新しくお探しのパスワードを入力

※ 必ず、必ずお探しのパスワードを入力し、「新規」を選択
 ※ メールアドレスが6000で「OK」を選択

以上で、登録は完了です。

デモ環境を利用してみましょう！



	メニュー名	機能
①	町内行事	汎用記事
②	連絡事項	汎用記事
③	掲示板	掲示板
④	役員会	所属限定掲示板 (所属が補助金説明会参加者のみ利用可能)
⑤	グループチャット	チャット (画像等は投稿不可)
⑥	各種資料	汎用記事
⑦	アンケート	チェックシート
⑧	問合せ	会員⇒自治会役員への問合せ
⑨	世帯内利用者登録方法	PDF表示
⑩	各務原市公式HPへのリンク	外部サイトへの誘導

電子回覧板アプリ「結ネット」登録方法について

● インストール

iPhone・iPad をお使いの方

①カメラを起動し、下の二次元コードを読み取る



※ 二次元コードが読み取れない場合は、App Store (Google Play) で「結ネット」と検索

② **入手** を選択



Android をお使いの方

①カメラを起動し、下の二次元コードを読み取る

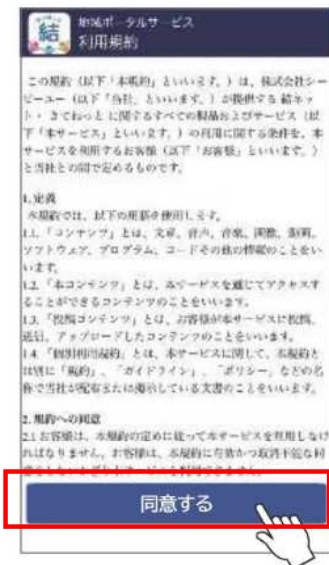


② **インストール** を選択



39

③ インストール完了後アプリを開く
「結ネット」の利用規約が表示されるので、
内容を確認し「同意する」を選択



④ 新規利用申請を選択

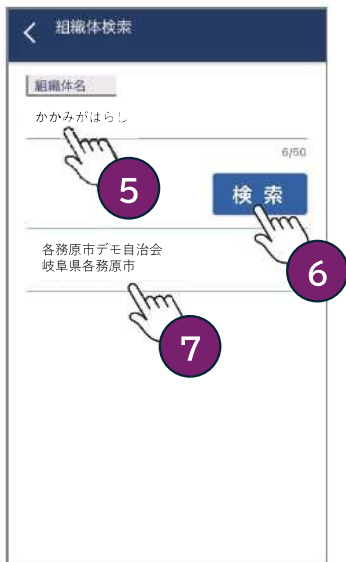


40

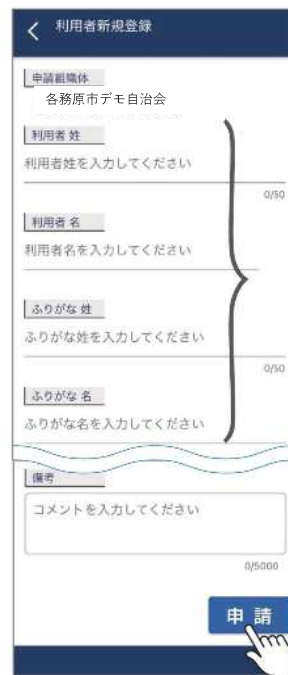
⑤組織体名の欄にひらがなで「かかみがはらし」と入力

⑥ **検索** を選択

⑦「各務原市デモ自治会」を選択



⑧各項目に必要な事項を入力し、 **申請** を選択



入力項目

- ・利用者 姓・名
- ・ふりがな 姓・名
- ・所属

※今回は「補助金説明会」を選択してください。

※上記以外に、住所・電話番号・E-mail等の入力欄がありますが、入力の必要はありません。

以上で利用申請は完了です。

管理者の承認をお待ちください。 41

利用申請完了のお知らせが届いたら・・・

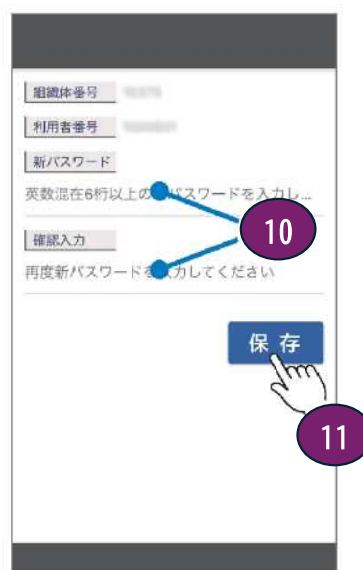
⑨利用申請完了のお知らせを選択、またはアプリ画面を開き、 **申請状態確認** を選択



⑩ 新しく設定するパスワードを2か所入力
※ 英字・数字を含む6桁以上

⑪ 「保存」を選択

※ メッセージが表示されるので「OK」を選択



以上で、設定は完了です。

※既にアプリをご利用中の場合

※③以降はスライド41ページ以降を参照



災害モード 画面一例



(参考) アプリの活用事例

次ページより、令和7年1月～令和8年3月までモデル自治会としてアプリをご活用いただいた自治会の取組例を掲載しております。

45

A自治会

①運用体制

- ・管理者→ICT推進員、自治会長
- ・記事発信/登録作業/アプリログインサポート→ICT推進員

②導入の経緯

- ・ コロナ禍を経て自治会員が減少。
→アプリの活用により、脱会をくい止めたり、脱会した方が戻ってきてもらうようにできないか？
- ・ 現役世代は忙しい為、自治会行事の日程が早く知りたいのでデジタルでの発信がしたい。



- ・ R6.10月自治会総会にて、自治会長がモデル事業への参加を提案、自治会員の賛成多数で申し込み。
- ・ ICT推進員を引き受けてくれる人がいた為参加可能に。

③登録促進の取組

1. 回覧板にてアプリ利用の意思確認。(全世帯)
2. ICT推進員が参加世帯に渡すID通知書を作成。
3. 参加世帯にID通知書とマニュアルを班長が配布。
4. 自身で登録できない方を対象に登録会を開催。
ICT推進員が初回ログインをサポート。

④発信内容

- ・ 回覧版/毎月の公民館清掃当番表、不燃ごみ当番表
- ・ 自治会総会の議題を事前に共有
- ・ 自治会行事の記録(掲示板型記事で発信)
- ・ 指定避難場所、ハザードマップ、防災マップ、避難路マップ
- ・ 防犯情報(空き巣の多発を周知)

ポイント

記事は作成時にスマホ画面(幅が狭く縦に長い)で読みやすいように改行。発信前に自身のスマホで確認をしてから発信しています。



⑤自治会員の声

- ・ 最初は見方が分からなかったが、見方がわかったら情報が後から確認できるので便利。
- ・ 普段は未読の方が、3月の総会の前や後だと既読に。総会の前に議題の予習や復習ができた。

⑥課題と今後の展望

- ・ アプリ登録率をさらに増やす。
- ・ 発信記事の既読率を高める。

B自治会

①運用体制

- 管理者→自治会長
- 登録作業/記事発信→ICT推進員

②導入の経緯

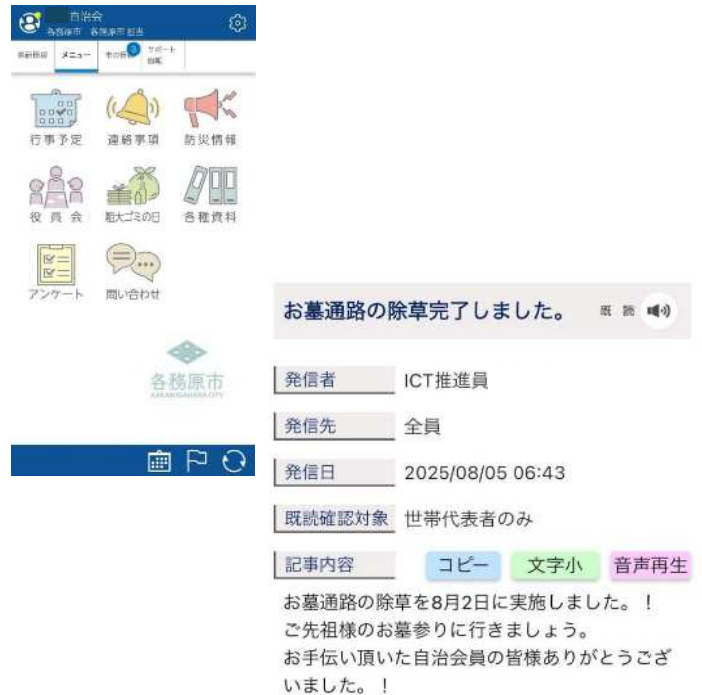
- 自治会長より、役員会においてモデル事業への参加を提案。
- 年齢的にデジタル化についていけるか不安との声もあったが、アプリの導入による自治会業務の負担軽減や、市内で先行して導入することで、本導入となった際にスムーズに利用可能な体制が取れることを期待し、役員会での承認を経て参加を決定。

③登録促進の取組

- 回覧板でアプリにご登録いただける方を募集
- 公民館で登録会を開催(2回目の登録会も計画中)

④アプリを導入してよかった点

- 連絡事項が迅速に出来る様になった。
- 電話連絡が削減出来た。



C自治会

①運用体制

- 管理者/記事発信/登録作業/登録呼びかけ →自治会長兼ICT推進員が実施

②登録促進の取組

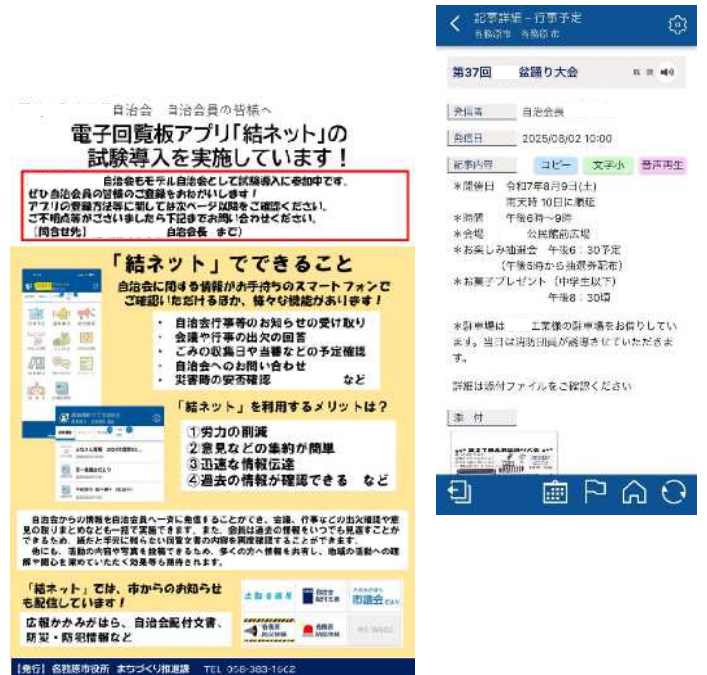
- 登録率が伸び悩んでいたが、全世帯にアプリへの登録依頼リーフレット(まちづくり推進課制作)をポスティング
⇒一週間で15名の新規利用申請があった
- 回覧板と同時にアプリ上で記事を発信して、利用者に情報発信のスピード感、過去の情報確認ができることの利便性を感じてもらえるようにしている。

③自治会員の声

- 回覧板が一巡するのに、遅い班では7~10日かかっていたが、結ネットですぐに情報確認ができるようになった。

④課題と今後の展望

- 管理者の発信スキルの課題。
- 一年毎に管理者(自治会長)が替わる。
- 後期高齢者ばかりでアプリの利用が定着するか不安。



D自治会

①アプリの運用体制

- 管理者/記事発信/登録作業→自治会長兼ICT推進員
- 登録の呼びかけ→回覧文書

②導入の経緯

- 次世代の自治会長の負担軽減をはじめ、自治会役員の負担を少しでも軽減できないかを模索する中で、情報発信のプラットフォームとしての利用を考えた。
- 自治会活動について知ってもらうための情報発信ツールとして利用し、自治会内の「つながり」を確保できることを期待。

③登録促進の取組

- アプリ導入の目的について、文書を回覧したり、説明会を開催。
- 年度末の自治会総会においても案内。
- アプリ登録は、自治会員からの申し込み(文書)に基づき、管理者である自治会長が実施。
- 情報管理に不安のある方もいることから、アプリへの登録情報は最低限の「名前」のみとしている。

④課題と今後の展望

- 高齢世帯の加入促進には、少し時間が掛かると思われる。役員が時間を割いて高齢者世代の加入促進を図ることが難しい。
- アプリ登録者が、まだ自治会加入者の4割程度のため、情報発信を「アプリ」と「従来の方法(回覧)」の2通りで行っており、当面は、2通りの情報発信が必要と考えている。

「絆ネット」アプリ世帯登録代表者

姓(名): _____

世帯名: _____
(任意欄)記載されている世帯の名前を記入ください。

○「絆ネット」アプリを登録する世帯の代表者

お名前:	(任意欄)
携帯電話番号:	-

「絆ネット」世帯者登録のお知らせ

お名前(任意)と個人情報を記入し、情報発信を開始いたします。

世帯名:	
お名前:	11373
携帯番号:	090-1234-5678
パスワード:	(*)数字・半角英数字のみで10文字以上

※年次更新(1月1日現在)により、変更が必要となります。

ご利用画面



「毎週お楽しみ」はご利用できません。